



あゆみ

No. 166

令和 4年 8月26日発行

編集 発行：社会福祉法人 啓明会 苔山寮・第二苔山寮
〒863-0006 熊本県天草市本町下河内680
TEL 0969-22-5339・0969-22-1766 FAX 0969-22-5090
E-mail reizanryou@miracle.ocn.ne.jp・reizan2@muse.ocn.ne.jp
社会福祉法人啓明会ホームページURL <http://keimeikai.amakusa-web.jp/>
施設の旬の話題を「レイザンTOPIX」にて更新中です。



「新型コロナウイルスを経験して」

施設長 鮎田 一夫

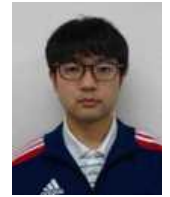
しまったことです。シフトは暫くは日勤、夜勤の二種類で回さざるを得ませんでした。疲労のために熱発した職員も出てこのまま

五月のことで少し遅くなりましたが、当施設で発生した新型コロナウイルスによるクラスタの報告を簡単にさせて頂きます。五月二五日、一人の利用者の熱発から始まったコロナ禍は、翌々日には苔山寮、第二苔山寮共に燎原の火のように拡がり、最終的には苔山寮、第二苔山寮の利用者、職員合わせて八四名罹患という結果になりました。いつかは見舞われるだろうと二回も往診に来て下さり、私達を支えていた覚悟はしていたものの、やはり悔しいやただきました。協会や近隣の施設、家族から慌てるやら平常心ではいられない自分からは直ちに多くの支援物資を届けていただきました。それから六月二五日の収束き、物資が不足することはありませんでしたが今考えると良い経験になったと言えた。最後に、一人の重症者も死者も出さずですが、その時は毎日を無事に過ごす収束することができ何よりだったのはもちろんです。ただ、職員がきつい中でもいつも笑

実はその前日にコロナ対策の訓練をし、顔で互いを励まし合いながら勤務してくれ、たばかりでした。しかし、訓練ではどうこのような職員を持ったことを幸せだとしても見えてこないところがあるというみじみ感じました。

ことが、現実になってみてよく分かりました。この経験から職員一人ひとりも何か学んだ。備蓄品の偏り、日課の不備、ゴミだのではないかと思えます。それを次に活処理、利用者の清潔保持など、毎日課題かせたらこの一ヶ月も無駄ではなかったとが出てきてはそれに対処することに追わ言えるでしょう。私自身もまだまだやることれました。何よりきつかったのは職員もとが沢山あると考えさせられた一ヶ月でしコロナに罹患し、かなりの人数が減ってた。

サービスの現場より



『グリーンゾーンより』
苔山寮副施設長
鮎田 一喜

ご存知の通り当施設では集団感染が起きておりました。その際私が割り当てられた業務は安全と定めた職員室等グリーンゾーンの消毒と物品の補充・在庫確認が主でした。取りかかった最初の一週間は職員が一人又一人と陽性となり無力感のようなものを覚えていました。自身の消毒が甘かったと思い、手で触れる箇所だけでなく足で触れる箇所も消毒を徹底しましたがそれでも感染者がなくなることはありませんでした。気持ちが落ちていた頃、感染廃棄物処理の際に防護服を着る機会があり、外のゴミステーション倉庫へ運び出しました。運んだ作業で汗が水のようになり防護服内に溜まりだしてから漸く現場の過酷さの一端を実感いたしました。それからはこの程度で健康な自分が落ち込んでどうすると奮起し消毒作業並びに後方支援に精を出していくことができました。

この一ヶ月で私が得たものは実感に勝るものはないと言うことです。これからも重視して職務に取り組みんでいく所存です。



『担当利用者への取り組み』
苔山寮支援副主任
池田 隼人

私が担当させて頂いている利用者さんは、沢山好きな事があり、その一つにDVDを観る事があります。両親から沢山のDVDを頂き、よくDVDデッキで観られ楽しまれています。又、外に行くことも大好きで歩行や作業の声掛けを行うと、すぐに準備をされ出てきて下さり、仲の良い方と手をつないで歩かれることもあり微笑ましく思います。作業では一輪車を使用し物を運搬したりと頼りになります。その他に時々ではありますサイクリングにも一緒に行きます。まだまだ若いMさんは体力もあり自転車を漕ぐスピードが私とは違い速い為、「ごめん、もう少しゆっくり。」と言わなければならぬ始末で、スピードを合わせて頂き申し訳なく感じます。サイクリングの途中に自販機で好きなジュースを買って飲むのも楽しみの一つですが一気に飲まれるため声掛けを行いながら飲んで頂いています。施設内では、利用者さんが食べこぼしたものが衣服についていると、とってくださいませ、又、他の利用者の方で、自分で水分補給を終えたコップを片付けられない方のコップを片付けてくれたりと、とっても優しい方です。



『担当利用者への取り組み』
第二苔山寮支援員
村田 陽次

私が担当させて頂いているMさんは明るく人懐っこい笑顔が素敵な方です。Mさんへの取り組みとして、毎朝、要助者の髭剃りが終わった後の髭剃り機の掃除を行っています。簡単な作業ではありますが飽きっぽい性格なので、最初の頃は忘れて掃除をしていなかった事が何度かありました。その都度、声掛けを行いながら支援して行くうちに毎朝自ら髭剃り機を貰いに来て掃除を下さるようになりました。

今では要助者以外の利用者の髭剃り機も掃除するようになりました。毎日の取り組みが良い結果になりました。又、班活動にも積極的に参加されており、特に第二苔山寮が請け負っている墓所清掃では、道具や水などの準備を熱心に行って下さいます。ご本人に「ありがとうございます。いつも助かります。」と御礼を言うと思えませんが、はにかむところが、とても可愛く思えます。ご本人は墓所清掃が好きでリーダー的な存在でもあります。他利用者に指示を出したり積極的に頑張っておられるので、これからはご本人のモチベーションになっていくような作業を継続していけるよう支援して行きたいと思えます。



『事例研究を終えて』

くグループホームでの生活を目指した二年間く

私が昨年度まで担当させていただいていたTさんを対象に、令和二年度から三年度までの二年間事例研究を進めてきました。事例研究開始時は、Tさんは、「グループホームで生活したい。」という思いが強くある一方、活動への参加は乏しく居室で過ごす時間が多かったように感じます。一年目はどうか居室で過ごす時間を減らすことが出来ないか、様々な取り組みを行い、歩行時のリーダーとして先頭を歩いて頂くという役割を持つて貰い意欲の向上を図った結果、年間を通して一〇八回参加することが出来、継続して行えた活動でした。歩行の参加によって一日の大半を居室で過ごされていたTさんの印象は大きく変化したと感じます。

令和三年度からは活動時だけでなく、日課に沿った行動が出来るようになることで、更にグループホームを意識した生活が送れるようTさんと話し合い計画を立てました。前年度同様、様々な役割（朝礼や検温開始の放送、トイレ掃除、風呂掃除等）を持ってもらい、自立に向けた生活習慣の改善にも取り組みました。特にトイレ掃除と風呂掃除はグループホームでは職員が行うのではなく入所者の方たちが持ち回りで行っており、そのことを説明したうえで責任感を持ち行ってもらおう事が出来ていたと思います。グループホームに行けば就労することにもなる為、事業所の体験実習も行うことが出来ました。実習を行い今後のビジョンが更に明確に見えてきたことで、施設内の生活にも活気が生まれ意欲の向上に繋がったと感じています。そして一年間頑張ってきた結果、三月末日苔山寮を退所し、四月より希望されていたグループホームへ入居されました。Tさんが苔山寮に入所され五年間担当として接してきましたが、ここまで来られたのは様々な職員の助けあってこそだと感じています。もちろんTさんの頑張りが一番ではありますが、この事例

苔山寮支援員 濱 陸史

研究そのものがなければ職員一丸となって「Tさんをグループホームに送り出してあげよう。」という思いも生まれていなかったかもしれせん。Tさんの担当として過ごしてきた五年間で私自身も様々な事を勉強、体験することが出来、Tさんと共に成長させて頂いた大切な時間となりました。リュックサックを背負い真つ黒に日焼けした身体で「初給料もらったよ。」と嬉しそうに語る生き生きとしたTさんを見て少し涙ぐんだのはここだけの話。まだまだグループホームでの生活は始まったばかり、苔山寮で過ごした五年間を糧に新しい生活を頑張つて頂きたいと願っています。



苔山寮、第二苔山寮の事例研究メンバーが月に1回集まり、対象利用者について今後の課題や支援方法について検討します。



決定事項は委員会メンバーだけでなく、全職員に協力してもらうため職員朝礼にて報告し周知しています。

新型コロナウイルスクラスター ～激動の1ヶ月～

苓山寮、第二苓山寮にてコロナウイルスのクラスターが発生し、利用者・ご家族の皆様、地域の皆様、医療機関の皆様沢山の方々にご迷惑とご心配をお掛けしました。5月25日に苓山寮、第二苓山寮それぞれ利用者1名の陽性者が確認され、最終的に苓山寮利用者36名、職員18名、第二苓山寮利用者23名、職員7名の計84名の陽性者が確認されました。1ヶ月後の6月25日に収束宣言が発表された為1ヶ月間という長い間棟内をゾーンで分け、隔離生活となってしまい利用者の皆様には身体的、精神的に大きな影響を与えるものとなりました。収束後も表情が陰い方や歩行の際、体力、筋力の低下で息切れが早い方がいらっしゃいました。少しずつ元の生活に戻るよう歩行は棟内歩行から始め、棟内の清掃にも全員で取り組みました。行事も徐々に開催されるようになり利用者さんの笑顔が少しずつ増えてきたように思います。全国的にもまだまだコロナの収束は見え、様々な制限の中での生活が続きますが、利用者の皆様には一緒に笑い合える時間を提供していきたいと思ひます。



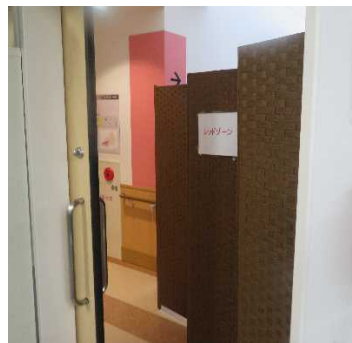
施設内のゾーニング作業は訓練で実施していたため、スムーズに出来ました。



職員による拭きあげは隔々まで丁寧に、毎日何度も行いました。



感染症用防護服を着用して、利用者さんの支援を行いました。服の中は汗が溜まっていました。



「善意のご寄付」

たくさんのご支援を賜りました。心より感謝申し上げます。

いただいたご寄付は、有効に活用させていただきました。

- ・熊本県 様
- ・熊本県知的障がい者施設協会 様
- ・天草市施設協会 様
- ・第二天草学園 様

*この他、各団体及び個人様からもご寄付の物品等をたくさん頂きました。

書面をもちましてお礼に代えさせていただきます。ありがとうございました。



夕涼み会【パジャマフェスティバル】

7月29日

苓山寮

酷暑とコロナを吹き飛ばすべく夕涼み会が開催されました。パジャマに着替え就寝時間迄時間の許す限り大好きなカラオケを歌って踊って。中には2曲3曲歌われる利用者の方もおられ、小さなステージには大行列が出来ました。

夕涼み会のもう一つのお楽しみ苓山出店の甘い綿菓子と、蜜の上に練乳たっぷりのかき氷は練習を重ねた職員の手作りです。こちらもおかわり希望で行列の出来る屋台でした。利用者の方々の輝く笑顔を見ることが出来た私達も幸せなひと時を送る事が出来ました。



かき氷
どれにしようかな？

昔ながらの
フワフワわたがし
おいしそー(*^▽^*)



皆さん素敵な
パジャマ姿で
すよ！



女性利用者さんには前準備から手伝っていただきました。



山田さんの「カンパニー」
のかけ声から、夕涼み会の
スタートです ♪ ♪



ご馳走を前にして、
ハイチーズ(^_^)V



当日は祭りの法被、甚平、浴衣などの格好をしていただき、音楽も夏の音楽をかけ、食事は焼肉、焼鳥、イカ焼き、焼きトウモロコシ、唐揚げ、ポテトフライ、かき氷、ジュース、ビールなど、三縁日のような雰囲気でした。利用者の方も「コロナ禍で活動や外出が制限される中での夕涼み会だったため、いつも以上に笑い声や笑顔の飛び交うとても和気あいあいとした良い会になりました。利用者の方からは「楽しかった、またしたい」との声がたくさん聞かれましたので、「コロナ禍でも楽しんでもらえような会をどんどん企画していければと思います。」

夕涼み会

七月二五日

第二苓山寮グループホーム

【新職員紹介】



松崎 陽輝さん (第二芥山寮栄養士)

四月一日より働かせていただいています。利用者さんに「おいしかったよ」と言っ



萱野 豪さん (芥山寮事務員)

七月一日から入職しました。利用者様が笑顔で安心して過ごしていただける環境をつくれるよう日々精進して参ります。よろしくお願ひ致します。



鮎田 麻衣さん (第二芥山寮事務員)

八月一日から第二芥山寮の事務に入職しました。皆さんに顔と名前を覚えてもらえるように頑張ります。どうぞよろしくお願ひ致します。

【退職職員紹介】田中 直さん

八月十五日付けで退職されました。二七年間、芥山寮の職員として日々、利用者さんのご支援に従事されました。長い間お疲れ様でした。益々のご健康とご活躍をお祈り致します。



一の瀬花壇

本町地区コミュニティセンター様より季節の花苗を頂いています。今回、第二芥山寮すばる班の利用者の方で、ひまわり薬局さん前の一の瀬花壇に定植をしました。雑草を抜き、土を起こして肥料を撒き、バランスを考えながら苗の配置を決め、皆さん協力し合って作業を進めました。苗は順調に成長し、マリーゴールドや日々草等、色とりどりの綺麗な花を咲かせ、利用者の方々もとても喜んでおられます。花壇の前を通られた際はぜひご覧下さい。



日常生活の風景

春日 勝也さん

春日さんは現在六六歳、とても明るく元気な方です。ドライブや音楽が好きで、ドライブでは「見てー海。」等と沢山話される事が多く、笑顔でドライブを楽しまれています。日中活動中に音楽が流れていると、知っている曲は歌いながら楽しく活動をされています。カラオケでの十八番は「さんぽ」で、熱唱されています。又他利用者が歌われている時にも一緒に歌われています。今後も春日さんの笑顔を沢山見れるよう支援していきます。



祝原 和則さん



多くの利用者さん達からは親しみを持って「バラちゃん」の愛称で呼ばれ、皆さんと一緒に楽しく毎日を過ごされています。そんな和則さんはお洒落をするのが大好きです。散歩やドライブに出掛ける時は、まず当日の気分で帽子を選び最後にお気に入りのサングラスをかけられます。最近のお気に入りには、肩に掛ける小さなバッグで、自慢げに見せて下さいます。中には皆さんと撮った素敵な写真がたくさん入っていて宝物のように持っておられます。

△出産お祝い△

第二芥山寮の糸田支援員に第一子となる(いろは)ちゃんが誕生しました。ご出産おめでとうございます。いろはちゃんの健やかな成長を願っております。



△行事予定△

- 九月
 - 六日 訪問歯科
 - 十三日 敬老会
 - 十四日 第三者評価受審
 - 二十一日 配置医来寮予定
 - 二十二日 グリーンクリーン活動
 - 二十六日 チャレンジ50
 - 二十七日 訪問歯科
 - 三十日 オープンカフェ
- 十月
 - 五日 配置医来寮予定
 - 六日 血液・尿検診・訪問歯科
 - 十三日 訪問歯科
 - 十七日 チャレンジ50

△編集後記△

もうすぐお彼岸です。今年のシルバーウィークは前半の三連休、後半の三連休となり、お墓参りの予定も立てやすい様です。彼岸と言えば道路脇や田んぼの畦道にズラッと並ぶ彼岸花の光景が思い出されます。私の記憶ですが昔は赤い彼岸花しか無かった様に思いますが、今は黄色や白、オレンジ等の彼岸花もあり色とりどりとなっています。又、人気漫画で、青い彼岸花にまつわる内容が描かれ、青い彼岸花は有名になり注目が集まっていますが、実際は青い彼岸花は咲かないようです。

彼岸花が咲く頃には、利用者さんは外歩行に出掛ける機会が多くなります。澄みきった高い秋の空を眺め、一緒に赤や黄色の彼岸花を楽しみたいと思います。

